

世田谷に子どものこころとからだの健康センターを



日本共産党

「存じですか!」多動「学習障がい」などの発達障がい...
子どもたちにゆきとどいた支援を

学習障がい、注意欠陥・多動性障がい、高機能自閉症などの発達障がい、支援を必要としている子どもは全体の約6%いるといわれています(文科省の調査結果)。

支援のとりくみをはじめ、発達障害相談・療育センター(愛称「げんき」)には多くの相談が持ち込まれています。



小児精神専門の新規外来は数ヶ月待ち 区内にこころのケアの医療機関の整備を

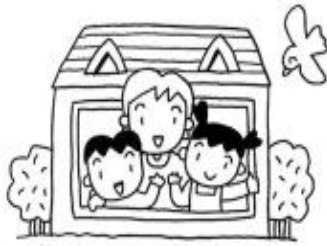
あるご家族からは、発達障がい専門の医師が少なく、当初の誤診から薬漬けになり、貴重な青春を棒にしまったという訴えもあります。

発達障がいを扱う烏山病院は約一ヶ月待ちという深刻な状態です。区は梅ヶ丘病院の果たしてきた大きな役割を認めています。

小児精神科分野は、特に専門医の早期からの適切な診断と継続的な治療、療育が必要です。

都に小児精神科医療機関整備を求めるべきです。

世田谷区内の小児精神科クリニックでは、一週間から四ヶ月待ち、



こころとからだの健康センターを梅ヶ丘に 力を合わせてがんばります

私は、区議会でも発達障がいへの対応、小児救急の拡充にとりくむことをつよく区に求めてきました。

子どもを持つ親御さんは、情報も少なく子どもの状態に心配がたえません。

私の活動の原点は、だれもが大事にされる社会をつくることです。

住民のみなさんと力を合わせ、子どものこころとからだの健康センターの設置に全力をあげます。



日本共産党
都議選予定候補
さとよし

里吉ゆみ